



©2006 Gullane (Thomas) Limited

# 第105期 事業報告書

2005年4月1日～2006年3月31日



## 富士急行株式会社



©2006 Gullane (Thomas) Limited

7月19日、富士急ハイランドに登場!!



## Contents

- 1……ごあいさつ
- 2……事業別概況（連結）
- 4……連結財務諸表
- 6……単独財務諸表
- 8……THE YEAR IN REVIEW
- 10……Fujikyū Information
- 12……営業案内図
- 13……会社概況・株式情報
- 14……株主の方へのお知らせ

## ごあいさつ

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当社事業に対し、格別のご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

心から御礼申し上げます。

当期におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に設備投資の増加や、個人消費が拡大するなど景気回復基調にありましたが、当社グループを取り巻く事業環境は、原油価格の高騰や下期における天候不順等による影響を受け、厳しい状況下に推移いたしました。

このような状況のもと運輸部門では東京都港区内の乗合バス「ちいばす」の利用者数が平成18年2月には100万人を突破し新たな交通手段として成果を上げると同時に高速バス営業において「大阪・京都～富士山五合目・富士五湖線」他6路線を新規路線として開設するなど、事業領域の拡大と新たな需要創出に努めました。レジャー・サービス部門では、富士急ハイランドにおいて7月に五感を刺激するホラーアトラクション「～ドクロ・ナ・キモチ～棺桶墓場」、トーマスランドエリアには、「きかんしゃトーマスとなかまたち」の名シーンを巡るアトラクション「ガタゴトだいぼうけん!」を導入するとともに富士南麓の遊園地「Grinpa（ぐりんぱ）」では、雨天でも楽しめる屋内型のおもちゃのテーマパーク「おもちゃファクトリー・キッズフジQ」の導入や「フジヤマリゾート」内に気軽に自然と親しめるキャンプ場「キャンピカ富士ぐりんぱ」をオープンさせるなど独自性の高い施設・商品の開発と積極的な営業活動に努めました結果、当期の連結売上高は433億42百万円、経常利益は31億6百万円となりました。

来期におきましても、当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き景気回復基調にあると考えられますが、金利上昇や原油価格の更なる上昇懸念等から予断を許さない状況が続くものと思われます。

このような状況の中、バス事業につきましては、既存路線の見直しと高速バス路線の更なる拡充を図るとともにグループ全体の乗務員教育の実施など、営業エリアの拡大と安全対策に取り組んでまいります。レジャー・サービス部門においては、富士急ハイランドで、本年7月に「フジヤマ」「ドドンパ」に続く超大型ローラーコースター「ええじゃないか」を新設し施設の拡充を図ってまいります。また、熱海市初島において、本年7月にアジアリゾートをテーマとした新施設「R-Asia（アール・エイジア）」をオープンさせるほか、ハイランドエリアにおいて、多様化する婚礼市場のニーズに対応するため、新チャペルの建設や、本年11月には、新たな客層を取り込むため、温浴施設を新設するなど、引き続きオリジナリティ溢れる施設・高付加価値サービスを提供し、増収に努めるとともに、指定管理者制度を活用した事業展開を進めてまいります。

今後とも当社グループは、経営理念・経営ビジョンのもと、中期経営計画に基づき、「Value up戦略（事業ポートフォリオの再構築）」と「エリア戦略」を推進していくとともに、キャッシュフローと資産効率を重視し、財務体質の強化に取り組んでまいります。

当社グループは、本年9月に創立80周年を迎えますが、これを機に河口湖駅前再開発事業をはじめとする地元への社会貢献活動と富士山を中心とした自然保護活動に更に取り組むとともに、安全を全てに優先し120%の安全の遂行と、コンプライアンスを重視した経営により、引き続き企業の社会的責任を果たし、アメニティ（夢・喜び・快適・やすらぎ・感動）ビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

株主のみなさまには、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

代表取締役社長

堀内 光一郎



## ■ 運輸部門

鉄道事業につきましては、富士急行線では、沿線の特性を活かし、自治体と連携したスタンブラリーなどのイベントを実施し、首都圏からの旅客誘致を行うとともに、12月には旅客の動向に則したタイヤ改正を行い、サービスの向上と需要の喚起に努めました。

また、脱線防止ガードを増設するなど、更なる安全対策に積極的に取り組みました。

バス事業における乗合バス営業につきましては、引き続き国及び関係地方自治体と協議し、不採算路線の改善に取り組む一方、12月には神奈川県山北町において、「町内循環バス」の運行を開始するなど、地域住民の利便性向上に努めました。

また、平成18年2月には前期に新規参入した、東京都港区内の乗合バス「ちいばす」の利用者数が100万人を突破するなど、新たな交通手段として着実に成果を上げてまいりました。

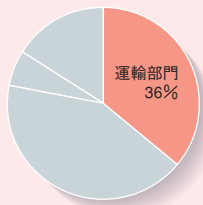
高速バス営業につきましては、富士急山梨バス株式会社では「大阪・京都～富士山五合目・富士五湖線」他3路線を、富士急湘南バス株式会社では「松田・小田原～成田空港線」他1路線を、富士急シティバス株式会社では「沼津～東京駅線」を新規路線として開設するなど、グループ一体となって、新たに計7路線の運行を開始し、需要創出に努めました。

貸切バス営業につきましては、バスセールスセンターを中心に「富士急」ブランドによるトータルセールスの強化に努めるとともに、「愛知万国博覧会」などの各種イベント輸送等の受注に取り組み、増収に努めました。

また、ハイブリッドバス車両、CNG（圧縮天然ガス）バス車両などの低公害車両を導入し、環境保全の推進を図りました。

ハイヤー・タクシー事業につきましては、静岡地区においてGPS（衛星測位システム）を使用した自動配車システムを活用し、配車の迅速化を図り、稼働率の向上と利用客の拡大に努めました。

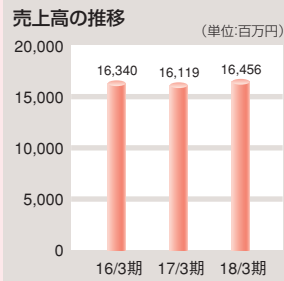
この結果、売上高は164億56百万円（前期比2%増）、営業利益は10億21百万円（同6%減）となりました。



河口湖駅新駅舎



京都・大阪線バス



## ■ レジャー・サービス部門

遊園地事業につきましては、富士急ハイランドで、7月に五感を刺激するホラーアトラクション「～ドクロ・ナ・キモチ～棺桶墓場」、トーマスランドエリアには、「きかんしゃトーマスとなかまたち」の名シーンを巡るアトラクション「ガタゴトだいぼうけん！」をオープンするなど、全天候型施設を増強するとともに、季節に応じた各種催事を実施したほか、昨年に引き続き、国との連携によりアジアからの海外旅行者を誘致し、増収に努めました。

富士南麓の遊園地「Grinpa（ぐりんぱ）」では、7月に子供が触れて遊ぶおもちゃの屋内型テーマパーク「おもちゃファクトリー・キッズフジQ」、シルバニアビレッジエリアには、ビレッジ内初の乗り物型アトラクション「風車のお家～気球であそぼ～」を新規導入し、ファミリー層に好評を博しました。

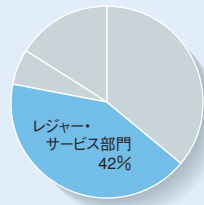
ホテル事業につきましては、ホテルハイランドリゾートで、人気キャラクターの「トーマスルーム」を増設するとともに、富士急ハイランドの人気アトラクションに優先乗車ができる宿泊プランなど、グループ施設を活用したオリジナル商品を販売し、増収に取り組みました。

また、ホテルマウント富士では、エステティックサロン「ヤノビューティウェルネススパエステ」をオープンしたほか、近隣の「花の都公園」を活用した新しい婚礼商品を販売するなど、増収に努めました。

ゴルフ場事業につきましては、利用客のニーズに対応した各種企画商品を設定するなど、増収に努めました。

その他のレジャー・サービス事業につきましては、気軽に自然と親しめるキャンプ場として好評を博している「PICA（ピカ）」ブランドのキャンプ場「キャンピカ富士ぐりんぱ」を「フジヤマリゾート」にオープンし、新たな需要の創出に努める一方、スノータウン「Yeti（イエティ）」では、10月に当期も屋外スキー場としては日本一早いオープンを果たし、好評を博しました。

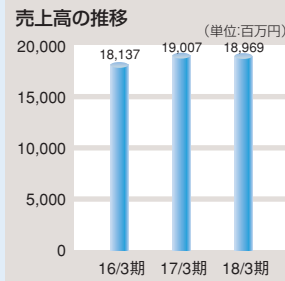
この結果、「愛知万国博覧会」開催による需要動向の影響があったものの、売上高は189億69百万円（前期比微減）、営業利益は19億54百万円（同3%減）となりました。



～ドクロ・ナ・キモチ～棺桶墓場



キャンピカ富士ぐりんぱ



## ■ 不動産部門

不動産販売事業につきましては、中期経営計画に基づき、山中湖畔別荘地において、新たな別荘開発を行うほか、住宅メーカーとタイアップした分譲を行いました。富士南麓の十里木高原別荘地では、人気キャラクター「シルバニアファミリー」公認の建売別荘を販売するなど、差別化商品の開発と販売強化に取り組みました。

また、不動産賃貸事業につきましては、富士吉田富士急ターミナルビルを全面改装し、複合専門店ビル「Q-STA（キュースタ）」として平成18年3月にリニューアルオープンしたほか、バス営業所の統合で生じた社有地への大型店舗の誘致により、安定収入の確保に努めました。

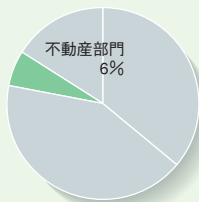
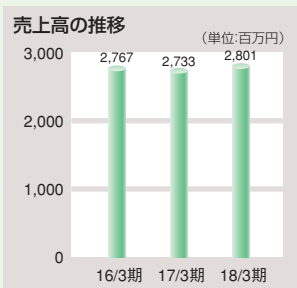
この結果、売上高は28億1百万円（前期比2%増）、営業利益は8億5百万円（同36%増）となりました。



シルバニアファミリー公認別荘



Q-STA（キュースタ）

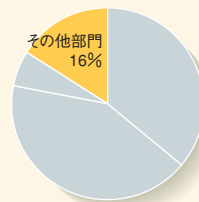


## ■ その他部門

富士ミネラルウォーター株式会社では、非常用保存水の法人需要の開拓に取り組み、富士急建設株式会社では、公共工事の受注に努めるほか、株式会社ネプチューンでは、車両用安全確認機器の積極的な販売活動を行うなど、増収に取り組みました。

また、株式会社富士急百貨店では、オリジナル商品の開発及び販売を行い、新たな収益源の確保に努めました。

この結果、売上高は72億98百万円（前期比4%減）、営業利益は2億48百万円（同7%減）となりました。



富士急百貨店オリジナル商品



© 2006 Gullane(Thomas)Limited

富士ミネラルウォーター



連結貸借対照表（要旨）

科目	期別	（単位：百万円）	
		当連結会計年度 (平成18年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)
<b>（資産の部）</b>			
流動資産		24,139	26,734
現金及び預金		6,954	9,381
受取手形及び売掛金		2,732	2,453
たな卸資産		13,355	13,766
その他		1,096	1,132
固定資産		60,291	57,233
有形固定資産		50,132	48,607
建物及び構築物		26,581	26,590
機械装置及び運搬具		6,989	7,546
土地		13,305	12,655
建設仮勘定		1,539	291
その他		1,716	1,522
無形固定資産		2,907	2,944
投資その他の資産		7,251	5,681
投資有価証券		5,465	3,513
その他		1,786	2,167
資産合計		84,430	83,967

科目	期別	（単位：百万円）	
		当連結会計年度 (平成18年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)
<b>（負債の部）</b>			
流動負債		21,374	21,900
支払手形及び買掛金		2,843	2,555
短期借入金		14,322	15,744
賞与引当金		518	544
その他		3,690	3,056
固定負債		48,912	49,284
長期借入金		42,289	43,145
退職給付引当金		1,651	1,459
その他		4,970	4,679
負債合計		70,286	71,184
<b>（少数株主持分）</b>			
少数株主持分		281	250
<b>（資本の部）</b>			
資本金		9,126	9,126
資本剰余金		3,322	3,332
利益剰余金		2,583	1,615
その他有価証券評価差額金		801	473
自己株式		△1,970	△2,014
資本合計		13,862	12,532
負債、少数株主持分及び資本合計		84,430	83,967

## 連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		（平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで）	（平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで）
営業収益		43,342	43,250
営業費用		39,355	39,296
営業利益		3,986	3,953
営業外収益		319	448
営業外費用		1,200	1,340
経常利益		3,106	3,062
特別利益		980	750
特別損失		1,228	1,735
税金等調整前当期純利益		2,858	2,076
法人税、住民税及び事業税		809	895
法人税等調整額		469	△25
少数株主利益		52	35
当期純利益		1,525	1,172

## 連結剰余金計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		（平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで）	（平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで）
（資本剰余金の部）			
資本剰余金期首残高		3,332	3,323
資本剰余金増加高		—	8
資本剰余金減少高		9	—
資本剰余金期末残高		3,322	3,332
（利益剰余金の部）			
利益剰余金期首残高		1,615	994
利益剰余金増加高		1,525	1,172
利益剰余金減少高		558	550
利益剰余金期末残高		2,583	1,615

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		（平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで）	（平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー		5,128	5,011
税金等調整前当期純利益		2,858	2,076
減価償却費		3,456	3,530
その他損益等調整額		914	1,708
資産・負債の増減額		△154	△88
小計		7,074	7,227
利息の支払額等		△1,945	△2,215
投資活動によるキャッシュ・フロー		△4,745	△2,076
有形固定資産の取得による支出		△5,062	△3,829
その他		316	1,752
財務活動によるキャッシュ・フロー		△2,785	△8,496
社債・借入金の増減額		△2,277	△7,933
その他		△508	△562
現金及び現金同等物の増減額		△2,401	△5,562
現金及び現金同等物の期首残高		9,200	14,762
現金及び現金同等物の期末残高		6,798	9,200

貸借対照表（要旨）

科目	期別	第105期 (平成18年3月31日現在)	第104期 (平成17年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産		19,006	21,115
現金・預金		4,635	6,273
未収運賃		622	634
未収金		531	673
たな卸資産		12,277	12,718
その他の流動資産		944	823
貸倒引当金		△4	△8
固定資産		55,765	52,594
鉄道事業固定資産		2,689	2,633
自動車事業固定資産		3,153	3,622
観光事業固定資産		25,575	24,988
土地建物事業固定資産		10,173	9,364
各事業関連固定資産		2,306	2,335
その他の固定資産		423	435
建設仮勘定		1,446	286
投資その他の資産		9,996	8,927
投資有価証券		5,642	3,791
長期貸付金		3,785	4,184
その他の投資等		731	1,047
貸倒引当金		△162	△95
資産合計		74,771	73,709

(単位：百万円)

科目	期別	第105期 (平成18年3月31日現在)	第104期 (平成17年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>			
流動負債		14,389	13,802
短期借入金		10,751	10,966
未払金		1,797	1,327
賞与引当金		88	90
その他の流動負債		1,752	1,418
固定負債		44,007	43,799
長期借入金		39,598	40,059
退職給付引当金		213	—
預り保証金		3,617	3,739
その他		578	—
負債合計		58,397	57,602
<b>(資本の部)</b>			
資本金		9,126	9,126
資本剰余金		3,398	3,398
利益剰余金		3,947	3,804
株式等評価差額金		722	445
自己株式		△820	△666
資本合計		16,374	16,107
負債・資本合計		74,771	73,709



## 損益計算書（要旨）

科目	期別	(単位：百万円)	
		第105期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)	第104期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
<b>経常損益の部</b> (営業損益の部)			
<b>鉄道事業</b>			
営業収益		1,194	1,223
営業費用		1,147	1,177
営業利益		47	46
<b>自動車事業</b>			
営業収益		2,823	2,956
営業費用		2,254	2,224
営業利益		569	731
<b>観光事業</b>			
営業収益		15,744	15,869
営業費用		14,307	14,332
営業利益		1,437	1,537
<b>土地建物事業</b>			
営業収益		2,202	2,162
営業費用		1,457	1,546
営業利益		745	616
<b>全事業営業利益</b>		<b>2,799</b>	<b>2,931</b>
<b>(営業外損益の部)</b>			
営業外収益		183	191
営業外費用		1,016	1,093
<b>経常利益</b>		<b>1,965</b>	<b>2,029</b>
<b>特別損益の部</b>			
特別利益		885	590
特別損失		1,200	1,242
<b>税引前当期純利益</b>		<b>1,651</b>	<b>1,377</b>
法人税、住民税及び事業税		548	701
法人税等調整額		390	△139
<b>当期純利益</b>		<b>711</b>	<b>816</b>
前期繰越利益		1,056	808
<b>当期末処分利益</b>		<b>1,768</b>	<b>1,624</b>

## 利益処分（第105期）

科目	金額
当期末処分利益	1,768,486,674
利益処分額	568,460,075
配当金	538,460,075
(1株につき5円)	
役員賞与金	30,000,000
<b>次期繰越利益</b>	<b>1,200,026,599</b>

# THE YEAR IN REVIEW

## 当期のトピックス紹介

### 新アトラクションが続々登場

富士急ハイランドに、ホラーアトラクション「〜ドクロ・ナ・キモチ〜棺桶墓場」、トーマスランドエリアには屋内型アトラクション「ガタゴトだいぼうけん!」がオープンいたしました。

また、富士南麓の遊園地「Grinpa(ぐりんぱ)」には、見て、触れて、遊べるおもちゃのテーマパーク「おもちゃファクトリー・キッズフジQ」が誕生し、隣接地にはキャンプ場「キャンピカ富士ぐりんぱ」がオープンいたしました。



©2006 Gullane (Thomas) Limited



2005

4月

5月

6月

7月

8月

9月

### 高速バス新規路線運行開始

富士急山梨バス(株)で「富士五湖～大阪・京都線」など計4路線の富士五湖を起点とする高速バスを運行開始するなど、当期中にグループで計7路線の新規路線の運行を開始いたしました。



### スノータウン「Yeti (イエティ)」 日本一早くオープン

富士南麓のスノータウン「Yeti (イエティ)」が10月21日、当期も屋外スキー場としては日本一早くオープンいたしました。



## 「富士急グループ中期経営計画」を発表

経営理念・経営ビジョンに基づき企業価値の極大化を具現化するため「富士急グループ中期経営計画」を策定いたしました。



10月

11月

12月

## スケート部「冬季オリンピック・トリノ大会」出場

イタリア・トリノで行われた第20回冬季オリンピックのスピードスケート競技に、当社スケート部監督・コーチ・選手6名が選ばれ、出場いたしました。



2006

1月

2月

3月

## 「シルバニアファミリー」との タイアップ別荘が完成、販売開始

富士南麓の十里木高原別荘地に「シルバニアファミリー」の「緑の丘のすてきな家」と「赤い屋根の大きな家」をモデルにした別荘を建設し、販売いたしました。



## 富士吉田富士急ターミナルビルが 「Q-STA(キュースタ)」として リニューアルオープン

富士急行線富士吉田駅の駅ビル富士急ターミナルビルが複合専門店ビル「Q-STA(キュースタ)」としてリニューアルオープンいたしました。



## 富士急ハイランドに超大型コースター 「ええじゃないか」が誕生



この夏、富士急ハイランドに、「フジヤマ」「ドドンパ」を超えるスケールでお届けする超大型コースター「ええじゃないか」が誕生します！

“コースターの王道”に挑み続ける富士急ハイランドが自信を持っておすすめする超大型コースター「ええじゃないか」にどうぞご期待下さい。

## 熱海市“初島”に新リゾートエリア 「R-Asia (アール・エイジア)」が誕生

この夏、熱海市“初島”に「アジアリゾート」をテーマとした新リゾートエリア「R-Asia (アール・エイジア)」がオープンします。

海水温浴施設、アジアガーデン、ガーデンキャンプサイト、プールの4施設で構成され、大海原を眺めながらゆったりとしたひとときがお楽しみいただけます。

ただそこにいるだけで幸せを感じられる“初島”の新リゾートエリア「R-Asia (アール・エイジア)」の誕生にどうぞご期待下さい。



## 富士急ハイランド、ホテルハイランドリゾートのエリアに 富士山を望める新しい温泉施設「ふじやま温泉」がこの冬オープン

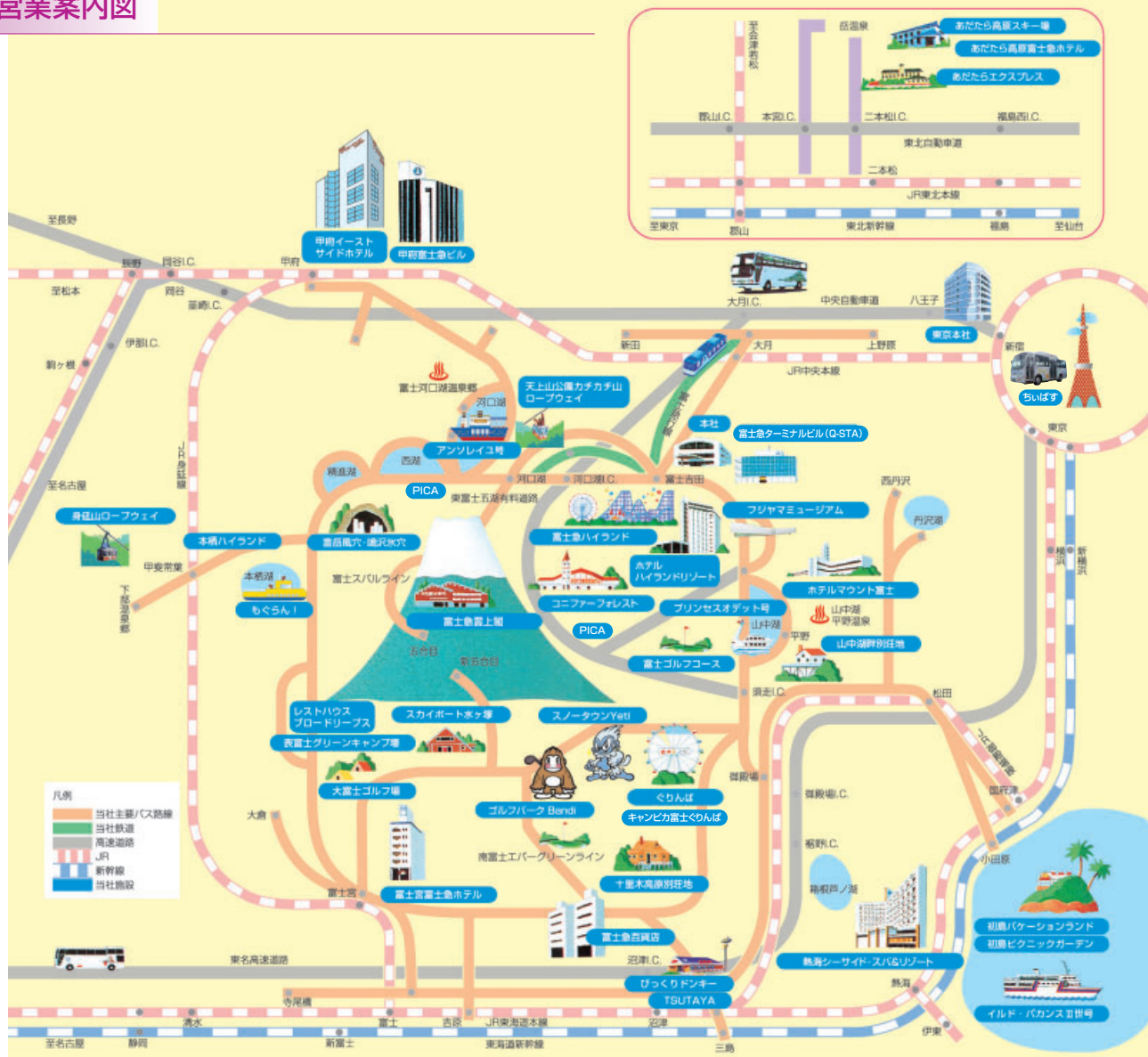


この冬、富士急ハイランド、ホテルハイランドリゾートのエリア内に、新しい温泉施設「ふじやま温泉」がオープンします。

新施設はエリア内で湧出する上質な温泉を生かした温泉施設で、露天岩風呂や御影石大風呂などが設けられ、富士山を目の前にした絶好のロケーションが魅力です。また、建物は『伝統的な和のやすらぎ空間』をコンセプトにした木造で、木の柱や梁が張り巡らされている天井は重厚感があり、落ち着いた雰囲気となります。

富士急ハイランド、ホテルハイランドリゾート、フジヤマミュージアムから成る一大リゾートエリアに新しい魅力がまたひとつ誕生します。





## 【バス・鉄道】

- バス ..... (0555)22-7100
- 高速バス予約センター  
(富士五湖線) ..... (0555)72-5111  
(甲府線) ..... (055)237-0135  
(東京駅～河口湖駅線) ..... (0555)72-2922
- 鉄道 ..... (0555)22-7106

## 【遊園地】

- 富士急ハイランド ..... (0555)23-2111
- 遊園地「ぐりんぱ」 ..... (055)998-1111
- スノータウン「Yeti」 ..... (055)998-0636
- 初島パクションランド ..... (0557)67-2151

## 【ホテル】

- ホテルハイランドリゾート ..... (0555)22-1000
- ホテルマウント富士 ..... (0555)62-2111
- 富士宮富士急ホテル ..... (0544)23-6666

## 【ゴルフ場】

- 富士ゴルフコース ..... (0555)62-1227
- ゴルフパークBandi ..... (055)998-1122
- 大富士ゴルフ場 ..... (0545)21-4111

## 【別荘地】

- 山中湖別荘地セールスオフィス ..... (0555)62-0043
- 十重木高原別荘地管理センター ..... (055)998-1212

富士急グループホームページ

<http://www.fujikyuo.co.jp/>

## 会社概要 (平成18年3月31日現在)

商号 富士急行株式会社  
FUJI KYUKO CO., LTD.

所在地 本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号  
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

設立 大正15（1926）年9月18日

資本金 91億2,634万円

代表者 代表取締役社長 堀内光一郎

主要事業 鉄道事業、自動車運送事業、  
土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、  
旅館業・遊園地その他各種観光事業等

## 役員 (平成18年3月31日現在)

取締役会長 (代表取締役)	堀内光雄	取締役	尾崎 護
取締役社長 (代表取締役)	堀内光一郎	取締役	天野 好
専務取締役	帆足雅晴	取締役	梶原 実
専務取締役	澤辺正恭	取締役	小泉 孝
常務取締役	清水守	取締役	石川 二比古
常務取締役	堀内哲夫	取締役	福重 隆一
取締役	林有厚	常勤監査役	矢野 勝
取締役	宇野郁夫	監査役	和田 力
取締役	山智史	監査役	吉 信
取締役	藤田 讓	監査役	岡 本

## 連結子会社の状況 (平成18年3月31日現在)

### ■運輸部門

岳南鉄道(株)  
富士急行観光(株)  
富士急平和観光(株)  
富士急山梨バス(株)  
富士急シティバス(株)  
富士急静岡バス(株)  
(株)フジエクスプレス  
富士急湘南バス(株)

富士急オートサービス(株)  
(株)静岡ホールディング  
富士急伊豆タクシー(株)  
富士急山梨ハイヤー(株)  
(株)富士急マリンリゾート  
他5社

### ■不動産部門

(株)富士急リゾートアメニティ  
他1社

### ■レジャー・サービス部門

(株)富士急ハイランド  
(株)フジヤマリゾート  
(株)富士宮富士急ホテル  
ハイランドリゾート(株)  
表富士観光(株)  
富士急安達太良観光(株)  
富士観光興業(株)  
表富士グリーン観光(株)  
富士急トラベル(株)  
(株)ピカ  
他1社

### ■その他部門

(株)富士急百貨店  
富士急建設(株)  
(株)富士急情報システム  
富士ミネラルウォーター(株)  
(株)ネプチューン  
他4社

## 株式情報

### 株式の状況 (平成18年3月31日現在)

発行する株式の総数 331,695,000株  
発行済株式総数 109,769,477株  
株主数 5,628名

#### 単元未満株式の買取および買増制度のご案内

・単元未満株式の**買取制度**  
株主様がお持ちになっている単元未満株式を、当社が市場価格にて買取らせていただく制度です。

・単元未満株式の**買増制度**  
株主様がお持ちになっている単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)となるような株式を、当社が市場価格にて株主様に売却する制度です。

当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社の本店および全国各支店、野村證券株式会社全国本支店にて受付けております。また株券保管振替制度をご利用の株主様は、株券を預託された証券会社へお申し出下さい。

〈単元未満株式の買取および買増制度に関するお問い合わせ先〉

〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
フリーダイヤル 0120-707-696  
0120-86-4490 (24時間自動音声応答)

### 大株主 (平成18年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
財団法人堀内浩庵会	12,912	11.76
株式会社エフ・ジェイ	12,708	11.58
日本生命保険相互会社	10,709	9.76
富国生命保険相互会社	10,700	9.75
朝日生命保険相互会社	7,650	6.97
株式会社東京ドーム	3,052	2.78
みずほ信託退職給付信託スルガ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託	2,555	2.33
富士急行株式会社(自己株口)	2,077	1.89
日野自動車株式会社	2,006	1.83
株式会社山梨中央銀行	1,973	1.80

# OPEN

## セント 聖コニファーチャペル 誕生

2006 Summer



### この夏、新しいウエディングへ。

この夏、ホテルハイランドリゾートに誕生する『聖コニファーチャペル』。コニファーは針葉樹を意味し、その花言葉は「不変」。変わる事のない永遠の愛を誓う空間として、新しいウエディングのスタイルを実現していきます。外観はコニファーの一種、もみの木をモチーフに、正面は全面ガラス張り。光と風と豊かな大自然をテーマにした『聖コニファーチャペル』誕生にご期待ください。

## HIGHLAND RESORT ホテルハイランドリゾート

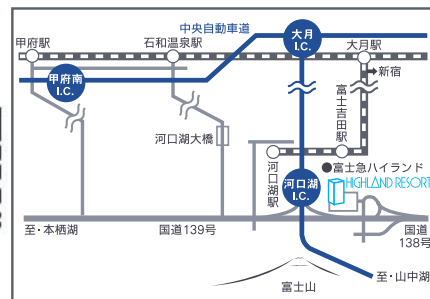
tel.0555-22-1000

〒403-0017 山梨県富士吉田市新西原5-6-1

- 中央自動車道・河口湖I.C.隣接。
- 東富士五湖道路・富士吉田I.C.降りてすぐ。
- JR中央本線・大月駅乗換、  
富士急行線・富士吉田駅下車。タクシー5分。
- 新宿駅から中央高速バス。  
富士急ハイランド下車、すぐ前。
- 東京駅八重洲南口から東名高速バス。  
富士急ハイランド下車、すぐ前。



[www.highlandresort.co.jp](http://www.highlandresort.co.jp)







Fujikyū group Highway bus

# 富士急グループ高速バス

富士急が贈るとっておきのバスの旅



©財団法人東京観光財団

## 新宿線

### ■富士五湖発着

河口湖駅・富士急ハイランド…1,700円 岡谷駅…3,060円

予約先 **0555-72-5111**

### ■諏訪岡谷発着

岡谷駅…3,060円

### ■伊那発着

駒ヶ根市…3,650円

予約先 **03-5376-2222**

### ■甲府発着

甲府駅…1,950円

予約先 **055-237-0135**

■<http://www.highwaybus.com>



©財団法人東京観光財団

## 東京線

### ■富士五湖・御殿場発着

河口湖駅・富士急ハイランド…1,700円

富士急御殿場車庫…1,500円

予約先 **0555-72-2922**

■富士宮発着/富士宮駅…2,500円

予約先 **0545-71-2660**

### ■沼津発着

沼津駅北口…2,100円

千福下…1,800円

予約先

**055-929-1144**

■<http://www.j-bus.co.jp>



## 横浜線

### ■富士五湖・御殿場発着

河口湖駅・富士急ハイランド…2,000円

富士急御殿場車庫…1,600円

予約先 **0555-72-2922**

■<http://www.j-bus.co.jp>



## 京都・大阪線

### ■富士五湖・静岡東部発着

河口湖駅・富士急ハイランド～大阪…8,500円

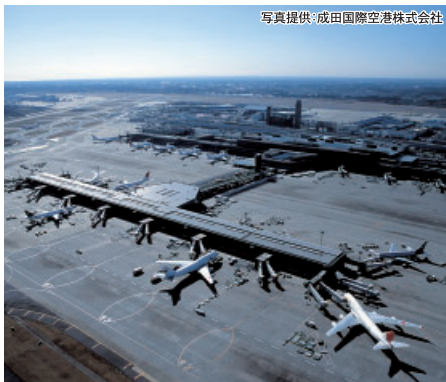
河口湖駅・富士急ハイランド～京都…8,000円

沼津駅～大阪…7,600円

沼津駅～京都…7,100円

予約先 **0555-72-2922**

■<http://www.j-bus.co.jp>



写真提供:成田国際空港株式会社

## 成田空港線

### ■静岡東部発着

新富士駅…5,000円/沼津駅…4,500円

予約先 **0545-71-2660**

### ■松田・小田原発着

松田…4,000円/小田原…3,800円

予約先 **0465-82-1362**

■<http://www.j-bus.co.jp>



写真提供:中部国際空港株式会社

## 中部国際空港線

### ■静岡発着

沼津駅…5,000円/東名静岡…4,000円

予約先 **0120-062-295**

■<http://www.j-bus.co.jp>



富士急行

URL <http://www.fujikyū.co.jp> ☎0555-22-7100

## 株主優待のご案内

### 電車・バス・観光施設共通優待券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数(半期)
1,000株以上	電車全線乗車 (1枚につき1名乗車) バス全線乗車 (1枚につき1名乗車)	7枚
3,000株以上	富士急ハイランド入園 (1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換) ぐりんぱ入園 (1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換) スノータウン「Yeti」 (5枚につき1日券1枚と引換)	10枚
5,000株以上	あだたら高原スキー場 (5枚につき1日リフト券又は Gondola 往復券1枚と引換) 初島バケーションランド入園 (1枚につき1名)	15枚
10,000株以上	天上山公園カチカチ山ロープウェイ (1枚につき1名乗車 (往復)) 河口湖遊覧船 (1枚につき1名乗船) ・ 山中湖遊覧船 (1枚につき1名乗船) ・ 本栖湖遊覧船 (1枚につき1名乗船)	25枚
20,000株以上	初島航路 (1枚につき1名乗船 (片道)) フジヤマミュージアム (1枚につき1名入館)	40枚

### フリーパス引換券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数(半期)
1,000株以上		1枚
3,000株以上	遊園地フリーパス	2枚
5,000株以上	(富士急ハイランド・ぐりんぱ) スキー場一日券	3枚
10,000株以上	スノータウン「Yeti」・	4枚
20,000株以上	あだたら高原スキー場)	5枚
35,000株以上		6枚

### 高速バス乗車券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数(半期)
5,000株以上	高速バス乗車券	1枚
10,000株以上		2枚
20,000株以上		4枚

注) 高速バス乗車券は、中央高速バス富士五湖線・甲府線及び東名高速バス東京駅～河口湖線の当社便に限りご利用いただけます。

### 電車・バス全線優待パス

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数(半期)
35,000株以上	電車・バス全線優待パス (表示された持参人1名)	1枚

### 施設割引券

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数(半期)	
1,000株以上	ホテルハイランドリゾート	1枚につき1室室料20%又は自社企画宿泊商品10%割引	2枚
	ホテルマウント富士		2枚
	富士急グループホテル プール割引券	ハイランドリゾート・マウント富士 20%割引 (1枚につき4名まで)	2枚
	あだたら高原富士急ホテル	3ホテル共通1枚につき1室室料20%又は自社企画宿泊商品10%割引	2枚
	富士宮富士急ホテル		
	甲府イーストサイドホテル		
	富士急グループホテル 飲食割引券		
	富士ゴルフコース	レストラン・バー、食事付入浴 10%割引 (1枚につき4名まで)	5枚
	ゴルフパーク「Bandi」		
	大富士ゴルフ場		
	PICA・キャンピカ富士ぐりんぱ	1枚につき1泊1室10%割引	2枚
	富士ミネラルウォーター	1枚につき20%割引 (1ケース以上)	1枚
	富士急トラベル	パッケージ旅行代金の5%割引 (1枚につき4名まで)	2枚
	富士急ハイランドボウリング場	1ゲーム350円 (1枚につき4名まで)	2枚
富士急オートサービス	車検・点検・整備 工賃10%割引	1枚	

### 新設 長期保有特別優待券 (3年継続保有毎)

ご所有株式数	ご優待の内容	枚数(3年継続保有毎)
10,000株以上	「ホテルハイランドリゾート」「ホテルマウント富士」の指定するツインルーム室料100%又はホテル内レストラン利用料30%割引券	2枚
35,000株以上		3枚

注) 対象となる方は、過去3年間すべての基準日において、1万株以上又は3万5千株以上を継続して保有し、かつ株主番号又は氏名・住所が継続して同一である株主様に限ります。

証券保管振替機構をご利用になる際など、株主番号が変更になる場合には、登録する氏名の新字体と旧字体の違いなどにもご注意ください。

注) 12月31日、1月1日、5月3・4日、旧盆(8/12～15)のご宿泊はご利用いただけません。レストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。

## 各種株主優待券の発行時期および有効期間

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月	6月1日～11月30日
9月30日現在の株主様	11月	12月1日～5月31日

※各種株主優待券は毎年3月31日および9月30日の最終の株主名簿・実質株主名簿に記載された1,000株以上ご所有の株主様に送付いたします。

※長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話問合せ) 郵便物送付先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel.0120-707-696 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載



## 富士急行株式会社

本 社 山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号  
東京本社 東京都渋谷区初台一丁目55番7号  
<http://www.fujikyū.co.jp/>



大豆インク配合率100%の環境配慮型印刷